

★輝いた high school★

歴史に幕を閉じて新たなステージへ

(順不同)

- 高知南中学校・高等学校 - - 高知西高等学校 -

今回、ご紹介する学校は、「県立学校再編振興計画」により統合が示された、高知南中学校・高等学校と高知西高等学校です。

ただ、両校は、令和5年4月1日には、高知国際中学校・高等学校として新たな歴史を刻むこととなり、最初で最後の紹介となります。

高知南高校は、1987年に高知市棧橋の競馬場跡地に開校しました。校訓は「進取」。その後、中学校を併設し、普通科と、国際科を設置している学校です。

一方、高知西高校は、1957年に(仮称)高知東高校として高知市桜井町に開校し、翌年名を改め、現在地(高知市鴨部)に移転しました。校訓は「HARD SPIRIT 貫徹精神」。その後、英語科を設置している学校です。

両校は、3月1日には最後の卒業式を迎えることとなります。本誌は、卒業式前に編集し卒業式後に発刊しますので、式に臨んだ生徒の皆さんの様子にふれることができないのが残念です。そこで、第3号では、卒業生の事前の声を、新聞の拾い読みの中から、要約して紹介させていただきます。

南風西へと運ぶ青春の

汗も涙も国際の1ページ -宮サ-

…卒業生の声 声声

(挿絵は特に関連していません)

<教室のベランダから浦戸湾を眺めていた男子生徒>

「船を見ながら食べる弁当は最高でした。『わんぱく』から、動物の鳴き声とか音楽も聞こえて楽しかったです。これぞ南って感じですよ！」

<最後の県民文化ホールでの演奏会に臨んだ女子生徒>

「3年間の全てが込み上げて、感極まって。泣きながら演奏していました。」

<文化祭で即席のボディビルを披露した男子生徒>

「受験勉強をせんといかん時に『何をやっているんだ!』と、思われるかもしれませんが、何事も貫き通すのが西高なんです!」

<巨大おにぎり持参の朝練女子生徒>

「3年間でささげました。おしゃれもできませんでした。」
「しかし、制服の水色のタイは他校のあこがれでもあり、セーラー服の可愛さはどこにも負けませんでした。」

<4月から県外の大学で鍛える男子>

「いつか、僕の活躍する姿が高知の二ニュースになるくらい活躍をしたい。僕ら卒業生が頑張ってる『南』の名前をずっとアピールしたいです!」

<修学旅行でのバーベキューの思い出を語った男子生徒>

「めっちゃ量が多かったけど、『残すと悪いので、全部食え!』って、みんなでわいわい言って食べました。」



<上段：高知国際高校、下段：宿毛高校>



令和4年度 第3回研修会

期日 令和5年2月18日(土)
場所 高知会館
時間 13:30~15:05
発表 安芸地区、高知地区、幡多地区、特支支部

(敬称略)

<発表校>

- ① 安芸地区
安芸高等学校 総務部長 竹内 寛敏
(題目)
「県立安芸中学校・高等学校と安芸桜ヶ丘高等学校とのPTAの統合について」
- ② 高知地区
高知国際高等学校PTA会長 真鍋 隆裕
(題目)
「高知国際高等学校PTA活動」

<質問風景>

- ③ 幡多地区
宿毛高等学校PTA会長 小川 美香
(題目)
「PTAの役割」
- ④ 特別支援学校支部
日高特別支援学校PTA会長 渡邊 昭夫
(題目)
「コロナ禍での日高特別支援学校のPTA活動」

県教育委員会をはじめ、120名を超えるPTA関係者の参加を得まして、久しぶりに開催することができました。研修後のアンケートには、コロナ禍の中での各学校の取組や、自校の参考になる内容を聞くことができ、大変有意義であったと、多くの方から意見や感想が寄せられました。次年度の発表校にも、大いに期待するところです。

ちょっと coffee break!

次の英文の()に入る適切な単語は①~④のどれでしょうか?

(難易度★☆☆☆☆)

If I () a bird.

- ① am
- ② was
- ③ were
- ④ is

さて、わかりますか? ☺

次の英文を和訳することができますか?

(難易度★★★★☆)

I think that that that that that boy wrote is wrong.

that には、それぞれ意味があります。☺

では最後に、ひらめき問題です。次の英文が和訳できますか?

(難易度?????)

Full is care cow was to become me is note.

出題したことを、少々後悔しています。☹

生々流転 = 流れる雲のごとく =

横倉山の博物館にシルル紀前期の石がある。4億3千年前にできたものらしく、珊瑚がたくさんはまっている。私たちの祖先にあたる生命は、この頃にはどんなことを考えていたのだろう。万物は流転する。時間軸のスケールを4億3千年ととつても、1年、いや1日ととつても絶えず変化している。すべてのものは絶えず生まれては変化し移り変わっていつている。時間が短いとそのことに気がつかないだけである。イプシロン-デルタのようだ。

高知県で禄を食み、在職中に大きな変化に居合わせる機会があった。高知丸の内高校の単位制への改編。当時、すでに総合学科はあったものの全日制普通科の単位制高校はまだあまりなく、高知県では初めての試みであった。当時の旧高知学区33中学校からは定時制単位制普通科の学校への志願者がわりあい多く、同様の役割を期待される一面もあったものの、全国の全日制の学校から学び全日制単位制普通科の理想を追いかけた。改編のスケジュールはいささか急で、かなりの痛みも伴ったが、教職員のみならず次々できる学校の姿に夢を乗せ、100年を超える歴史を持つ同窓生達の想いも重ねて今日の礎を築くことができた。改編1期生を迎える高知丸の内高校の入試志願倍率は4倍となった。以降、この学校の入試倍率は高いまま推移し、令和4年度入学者選抜A日程では1.29倍と県民に求められる学校であり続けている。

やがて創立200周年を一緒に祝うことを楽しみにしている。この改編にあたっての動乱（と書いていいと思う）のなか、常に先頭に立った竹田延前校長の「平時は after you 有事は follow me」のジェントルマンシップを間近に見ることができたことは私にとって大きな財産となった。紙面が許せばほかの経験もたくさん書きたいが、長文は宮川雅一事務局長に叱られるので、話題を現任校の高知国際高校まで一気に飛ばすことにする。

現任校は、やはり県内では初めての試みとなる国際バカロレア（IB）認定校である。そのうち、DP（ディプロマ・プログラム）を持つ学校は現在日本に65校ある。高知国際高校は先達である東京学芸大学附属国際中等教育学校等でIBの手法を学んできた若手教員や、全体をイメージしている高野和幸校長、教職員みんなを調整するコーディネータや学年主任等が中心となり、教職員全員で意欲的積極的に新しい手法に挑戦している。なんだか外国の学校を高知に作っているように誤解されることもあるようだが、それは違う。しかし、取り入れている指導方法と評価方法は求められている学力観を先取りして新しい。「先取り」としたのは文部科学省の新学習指導要領が、スイスに本部がある国際バカロレアが要求する価値に似ているからである。この学校は、まだ今から産みの苦しみを経るかもしれない。しかし意欲的建設的に取り組む教職員集団により、1期生を送り出

し、産みの苦しみの経験を自分たちの変化の材料として積み重ねることで、さらにより信頼され期待される学校となっていくであろう。創成期の一瞬ではあるものの、大きく変化してこうしているこの学校の一角に参加できることは幸せであった。

万物は流転している。どの学校も時代の要求に対してそれぞれの変化を絶やすことはない。教職員は、そのときにその学校に集った空に浮かぶ雲を作る水滴のようなものかもしれない。雲は常に形を変え、水滴は離散し、またどこかで集まり雲となる。高知東高校から高知丸の内高校に転じた平成13年春、去り際に先輩教員から歌を送られた。「いこしえの 社の森に集うれど 花吹雪かな 友と別れん」。この歌に返歌を詠んだ。「新世紀 いずこの杜に咲かんと 薫るは同じ 大和魂」。平成13年は西暦2001年、21世紀の始まりの年であった。高知東高校の築山には、この年の卒業記念品として桜が2本植えられている。

卒業生たちは齢40、それぞれ
咲き誇っているだろう。



高知国際高等学校
副校長 安藤 千速



令和5年2月18日（土）「高知会館」において、令和4年度 高知県教育長・高知県高等学校PTA連合会長功労者表彰式、また併せて、全国高等学校PTA連合会長表彰の伝達表彰式が行われました。コロナ禍の中にあつて、大変ご苦労された方々ではなかったでしょうか。改めて、感謝申し上げます。

高知県教育長・高知県高等学校PTA連合会長功労者表彰

－受賞者－

- (敬称略)
- 有澤 慎一 (安芸桜ヶ丘高等学校 PTA 会長)
 - 小松 喜世子 (城山高等学校 PTA 会長)
 - 式地 一豊 (高知工業高等学校 PTA 会長)
 - 宮地 香代 (高知北高等学校 PTA 会長)
 - 藤田 正樹 (高知西高等学校 PTA 会長)
 - 富永 和仁 (岡豊高等学校 PTA 会長)
 - 都築 靖正 (高知東高等学校 PTA 顧問)
 - 櫛田 里佳 (高知商業高等学校 PTA 会長)
 - 中本 雅彦 (高知追手前高等学校 PTA 会長)
 - 山下 博子 (伊野商業高等学校 PTA 会長)
 - 桐島 由佳 (大方高等学校 PTA)
 - 田川 剛 (宿毛工業高等学校 PTA 顧問)
 - 柴岡 宏行 (宿毛高等学校 PTA 顧問)
 - 中本 澄恵 (中村特別支援学校 PTA 会長)
 - 上野 真由美 (高知若草特別支援学校 PTA 副会長)

以上 15 名

皆さんおめでとうございます！

令和4年8月25日・26日に石川県で開催されました「第71回全国高等学校PTA連合会石川大会」において、以下の個人又は団体方が表彰されましたので、併せて伝達表彰を行いました。

－伝達表彰－

- 敬称略
- <個人表彰>
 - 都築 靖正 (高知東高等学校 PTA 顧問)
 - 山田 達哉 (高知東工業高等学校 PTA 顧問)
 - <団体表彰>
 - 高知西高等学校 (代表者 藤田 正樹)
 - 中村高等学校西土佐分校 (代表者 桑原 宏文)
 - <役員表彰>
 - 小串 和久 (高知県高等学校PTA連合会 前会長)

以上、個人2、団体2、役員1

心から敬意を表します！

次はあなたです！

<リレー・エッセー>

「令和4年度卒業式祝辞」



卒業式にあたり高知県高等学校PTA連合会を代表しまして一言お祝い申し上げます。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、今日は誠にありがとうございます。今日の佳き日を無事迎えることができましたのも、熱心にご指導いただきました先生方のお陰であると、深く感謝しております。

卒業生の皆さんは3年間の学校生活で、勉強にしても部活動にしても周りの級友というよきライバルがいて、お互いが切磋琢磨することで、大きく成長されました。自身の成長をどれだけ気づけるでしょうか。これも校長先生をはじめ多くの先生方が、いつの日も応援し続けてくれ、そして何よりも保護者の皆様や地域の方々の温かい見守りがあったからこそです。感謝の気持ちを忘れずにしてください。

さて、皆さんは今日を持って、より広い世界へ第一歩を踏み出すこととなります。と同時に、自分の意志で選択できる幅が広がることを意味し、その反面、責任もまた大きくなるのです。しかし、皆さんなら大丈夫です。疾風にけいそうを知る、コロナ感染症とともに歩んだ皆さんこそ、紛れもないけいそうだからです。

さらに、皆さんの努力を積み重ねた学びは、降りかかる困難を乗り越えていくときの大きな力になってくれることでしょう。自信と誇りを持って、力強く一步一步進んで行ってください。

最後になりますが、卒業生を温かく熱心にご指導していただきました、校長先生をはじめ教職員の皆様にご心よりお礼を申し上げます。また、3年間お子様を毎朝笑顔で送り出し、夕べには優しく迎えていただきました、保護者の皆様の深い愛情に感謝を申し上げます。

あらためて卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。人は多くの人と出会い成長していきます。夢目標を持ち、あきらめないで歩んでください。皆さんのご健勝と今後のご活躍を、心よりお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます

会長 佐竹 大樹

「エッセー」欄ですが、祝辞を掲載しました。